



第1190号
2010年12月19日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 英 久子

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nskk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇1月の代禱・信施奉献先
▽主教座聖堂の働きのため▽エールサレム教区の働きのため▽視覚聴覚障害者伝道のため▽聖教主福祉会(深川愛の園・まこと保育園・善福寺愛の園)のため▽タイチエンマイのEVA/AIDSの方々・難民・移民の自立支援のため

◆としえの平安

11月7日 林 光(94) 聖テモテ
11月13日 安部みどり(62) 聖ヨハネ
11月24日 山里 澄江(78) 八王子復活
11月30日 岡田 節(87) 聖マーガレット
12月3日 池端 健雄(95) 聖アンデレ

今週・来週の予定
12月19日~1月15日

19(日) 降臨節第4主日
21(火) 教財務サービス委員会 正義と平和運営委員会
25(土) 降誕日
26(日) 降誕後第1主日 山手G牧師協議会
1月
1(土) 主イエス命名の日
2(日) 降誕後第2主日
6(木) 顕現日
8(土) 新年礼拝
9(日) 顕現後第1主日
11(火) 銀座朝祷会 貧困問題P
12(水) 公開説教
13(木) 常置委員会 聖職養成委員会
14(金) 広報委員会

12月6日 上宮 節(80) 聖ヨハネ 仰と生活委員会・広報委員会。教区HPにも掲載。
12月8日 鍵山 絢子(64) 聖マーガレット
12月12日 遠藤 昭枝(83) 聖マーガレット
▽クリスマス礼拝案内 教区内教会・礼拝堂の24日~1月1日までの諸礼拝および催事一覧が各教会・礼拝堂へ送られ配布されている。(参照・ご利用を。発行日信) 16日号より再刊
12月6日 節(80) 聖ヨハネ 仰と生活委員会・広報委員会。教区HPにも掲載。
▽ブックレット『裸足の宣教』 本号5面に案内されている冊子は、クリスマスに一人ひとりに配布される。
【休業・休刊】 教区事務所休業 12月30日~1月6日、7日(金)より通常業務。教区時報休刊 12月26日号~1月9日号。16日号より再刊

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

今年の降臨節主日の旧約朗読はイザヤ書です。第1主日はイザヤ2章から「国は国に向かつて剣を上げず、もはや戦うことを学ばない」(「国と国とは戦火を交えず、もはや軍備を競わない」中澤洽樹訳)という万国平和が語られます。第2主日のイザヤ書11章では「エッサイの株からひとつの芽が萌えいで、その根からひとつの若枝が育ち」とあります。エッサイとはダビデの父です。期待する理想の王は、ダビデの系譜から出ることが暗示されます。ここには平和の治世と

平和の源

《クリスマスメッセージ》
一 勝田 廣 主教

さらにイザヤは「大地は主を知る知識で満たされる」と語ります。これが「平和」です。聖書が語る平和、シャロームは「主を知ることが地に満ちる」ことです。「主を知る」とは、単なる知的な理解ではなく、主と一つとなり、主と共に生きることです。これが地に満ちること、ここに

いうものが、メシアの統治として描かれます。理想の統治者への期待、これはやがて来たるべきイエス・キリストによって実現されます。しかしイエスは、あの貧しさの象徴としての飼

葉桶の中に生まれ、人々の病を担い、そして死ぬ(十字架にかかる)苦難の僕としての生涯でした。振り返れば私たちの信ずる神は、その独り子を犠牲にしてまで、私たちを愛し貫かれるお方です。
シャロームがあります。この実現を想起しつつ、御子のご降誕をお祝い申し上げます。
(東京教区管理主教・北関東教区主教)

◇人事

司祭 高橋 頤 目白聖公会
管理牧師解任(12月31日付)
司祭 鈴木裕二 真光教会牧
師解任(12月31日付) 目白聖公
会牧師任命 真光教会管理牧師
任命(11年1月1日付)

▽正義と平和協議会 1月22
日(土)。14時、講演会⇨沖縄問

題をテーマに、講師・谷昌二沖
縄教区主教。16時、協議会⇨本
年度活動報告と「貧困プロジェ
クト」現況報告。教区会館3階
を予定。詳細は1月16日号に。
◇前教区主教・植田仁太郎主教
様感謝募金 《送金方法》郵便
局「郵便振替口座番号・0013
018117483口座名義・日
本聖公会東京教区」。

公 示

教主降生2010年12月8日
日本聖公会
首座主教 ナタナエル 植松 誠

神のお許しがあれば、
司祭 アンデレ 大畑喜道の主教按手式な
らびに日本聖公会東京教区主教就任式を
下記のとおり執行いたします。
主にある兄弟姉妹、ことに日本聖公会に
属する聖職、信徒の代祷を求めます。

記

日時：2011年2月11日(金)午後1時
場所：香蘭女学校
東京都品川区
旗の台6丁目22-21
司式：首座主教 ナタナエル 植松 誠
説教：主教 ヨハネ 加藤博道
(祭色は赤を用います)

以上

《今、この教会では…》

現在建築中の教会・保育園の
建物は来春の竣工に向けて着々
と工事が進められています。皆
さま方のお祈りとお支えのおか
げで何とかここまでこぎつける
ことができました。感謝です。
建築募金は、教会・礼拝堂にお
邪魔してアピールの機会もいた
だき、目標7百万円の約半分を
達成しました。3階が礼拝堂と
牧師館、1・2階が保育園とい
う新しい形でのスタート。幼子
と共に歩んできた歴史の上に、
月島の地での新たな宣教のあり
方を模索して行きたいと願って
います。引き続きお祈りとご協
力をお願いいたします。

(聖職候補生 下条知加子)

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

▽2010年度聖公会神学院
短期集中講座『東方正教会の靈性
に学ぶ』 「西方のキリスト教
が、多くの矛盾を抱えて、分裂の
危機に直面している中、変わらな
い伝統を守り、独自の歩みが続け
ている東方正教会の靈性を」一緒
に学んでみましょう」と、校長・
広谷和文司祭の呼びかけで開催さ
れる。講師⇨鐸木道剛(岡山大学
准教授)、長屋房夫(ロシア正教
会司祭)、期間⇨1月18日(火)
⇨21日(金)、費用⇨全期間3
万円、通学聴講・各セッション2
千円、参加当日納入。持参品⇨聖
書。申込⇨8日迄に郵送またはF
AX。宿泊等詳細照会TEL(3
701)0575・同院。

▽聖公会神学院入学試験 2月
3日(木)14時⇨5日(土)正

午。場所⇨聖公会神学院(学生寮
に宿泊)。願書締切⇨1月28日
(金)必着。受験料⇨宿泊・食費
込5万円。詳細照会TEL(370
1)0575・同院。
▽1月聖路加国際病院礼拝堂
《夕の祈り》 5日(水)18時
半、オルガン演奏に引き続き19
時から。演奏者⇨小野田良子。
入場無料(会場献金)。
▽1月ランチタイム・オルガ
ンコンサート*聖パウロ⇨14日
(金)、永瀬真紀 *聖テモテ⇨
18日(火)、細川久恵 *神田キ
リスト⇨19日(水)、小野なおみ
各々12時20分から30分程度、入
場無料。
▽1月銀座朝拝会 11日・25
日(第2・4火曜)7時半、喫
茶室ルノアル・ニュー銀座。

お話し未定。照会TEL042(7
96)1498・同世話人。
▽1月西新の会 11日(火)
19時半⇨聖餐式・聖書の学び(高
橋頭司祭。井草地域区民センタ
ー。照会TEL(3338)41
45・阿佐谷聖ヘテロ教会。
◇堅信受領
12月12日 主教座聖堂
▽渡邊泰子(聖ペテロ)▽成リン
(聖救主)▽ヨココ・ヤマダ▽ケ
イ・ヒラタ▽ヒロキ・スズキ▽カ
ワシマ(聖オルバン)▽桑原康平
▽加藤直徳(聖テモテ)▽林真愛
▽原口明音▽太田真由▽麓みゆき
(聖マルチン)▽藤堂順平(聖パ
ウロ)▽木下絵美▽小野寺景子
(清瀬)▽村田香(聖マデレ)
▽小野強(聖ルカ)▽岡本直子
(神愛)

▽真光教会クリスマスコンサート 同教会聖歌隊の合唱と、フルート演奏(フルートⅡ河合沙樹・ピアノⅡ堀部とも上)。26日(日)14時、同教会。無料。照会☎042(795)6449・同教会。

▽神愛教会二つのクリスマスコンサート ・19日(本日)14時、入場無料。・25日(土)14時半、アンサンブル・アム(ピアノ・フルート・バイオリン)。入場料千五百円(学生千円)。照会☎03(3802)2455・同教会。

▽顕現日、祈りの集い(お話と祈り) 「朝鮮の人々、在日朝鮮人とともに、平和を求めよう」お話Ⅱ東海林勤師(日本キリスト教団牧師・高麗博物館理

事)。11年1月6日(木・顕現日)18時半、目白聖公会。女性が教会を考える会主催・正義と平和協議会協賛。照会☎042(336)8524・前田。

▽建築中の月島聖公会 3階までの躯体が出来、1月8日(土)14時〜15時に見学会を行う。要申込Ⅱ氏名・教会名・連絡先電話番号を記入し、FAX03(3358)3795・長島宛。申込期限Ⅱ12月27日(15名で締切)。照会☎FAXと同じ。

▽晩祷・全曲演奏会(セルゲイ・ラフマニノフ作曲) アリルイヤ合唱団。1月23日(日)15時、聖マーガレット教会。入場無料(会場献金)。照会先Ⅱmail②01023a11iuta.atunari.net。合唱団。

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

常置委員会報告(12月7日)

*12日の合同堅信式志願状況、財務諸表その他、各掌握関連事項について、主教チャブレン・各主事らの報告を了承。

*教区新年礼拝を1月8日(土)10時半から三光教会で行う。

*第115(定期)教区会開催日を3月21日(月・休)とし、書記に2師を任命。

*財政委員会委員長交替につき、後藤務委員長就任を了承。

*正義と平和協議会運営委員1名欠員につき井口諭司祭を任命。

*主教按手式・主教就任式実行委員会委員任命を了承。

*祈祷書改訂増補作業に係わるモニターとして鈴木裕二司祭推薦を了承。

*日韓聖公会神学会(会長・竹

田眞主教)理事会開催支援につき、主教資金から支出を了承。

*12年日本聖公会宣教協議会東京教区準備委員会設置に関し、常置委員会推薦委員5名を協議。

*第112(臨時)教区会議記録精査担当者を了解。

*社会福祉法人「聖救主福祉会」との覚書を更新する。

*月島聖公会の教区建築融資金申請を了承。

*2011年教区フェスティバルを開催する。

*その他

◇教区新年礼拝 廣田勝一管理主教司式・説教による聖餐式が、1月8日(土)10時半から三光教会で行われる。久方振りの新年礼拝は、広く信徒各位へ参加が呼びかけられている。

*資料保全委員会からお願い
ご存じの方は「一報を

教区事務所資料棚の一隅に、「旧大久保基督教会牧師、故桑田繁吉先生記念」と刻まれた分厚い木版が置かれています。そこには足にゲートルを巻き、これから家を出ようとする一人の司祭の姿と、「嗚呼勇士は戦の中に仆れたるかな 戦の具に失せたるかな」の句、更には昭和20年2月、空襲下の氷雨降る中を信徒訪問のため、家を出ようとして仆れた老司祭を悼む言葉が記されています。

大久保教会は空襲で焼失しましたが、同教会や桑田司祭について何らかの情報をお持ちの方がおられましたら、教区事務所小川総主事まで「一報ください」。

▽聖職試験公開説教 聖職試験委員会主催、執事試験の一環として、1月12日(水)19時から聖アンデレ主教座聖堂で。説教者(執事志願者)は倉澤一太郎聖職候補生。来聴歓迎。

◇教区主教按手式・就任式実行委員会 常置委員長笹森田鶴司祭を執行委員長に設置され、14日(火)初会合が持たれた。(以下括弧内は責任者名) 委員会は、礼拝式典担当(司祭高橋宏幸Ⅱ式典長、招待接待担当(司祭田光信幸)、レセプション担当(司祭長谷川正昭)、会計・募金担当、事務局の5部門の職務を分担する。同日は前半で全体の流れや役割分担と予算などの確認、後半は各担当で協議を行い、早速活動を開始した。

【クローズアップ】71

ダワーニ主教
教役者向けの講演会

東京教区の招聘でエルサレム教区より、スヘイル・ダワーニ主教ご夫妻が来日されたのを機会に11月22日(月)教役者に対する講演会が教区会館で行われた。

現在60歳のダワーニ主教の家族もまた1948年のイスラエル軍によるパレスチナの占領の際、難民としてヨルダンに逃れたという。現在聖地のキリスト者の数は約2%弱、激減している。一説には20年後にはゼロと言われている。主な原因は海外への移民である。今も分離壁や検問によって聖地のキリスト者たちは移動の自由を奪われ困難

な日々を過ごしている。

このような厳しい状況の中、エルサレム教区では、より具体的な形で弱者を助けようとするのと、イスラム教徒とユダヤ教徒の「架け橋」になるという教会の姿勢を明確にしている。エルサレム教区の年間予算の90%が学校や病院のために使われている。また、イスラム教徒、ユダヤ教徒、キリスト教徒の子どもたちが出会い、共に生きることが可能なことを知るプログラムを行っていると言明された。

「聖地のキリスト者にとって旧約聖書とは？」との問いには「エルサレム教区の聖職の共通認識として旧約聖書も新約聖書と同じように大切である。特に預言者の経験や教え、そして神

との関係を学ぶことは大切」と答え「キリスト者は新約聖書の光を通して旧約聖書を読むことが重要である」と話された。

そして「ユダヤ教徒もイスラム教徒もアブラハムを通して、同じ神の子である」と語られた。エルサレム教区の持つ具体的な困難として、分離壁や検問所に阻まれ、またビザ取得の制限も厳しく、移動の自由が奪われており教区内であっても容易に集まることができず、合同の礼拝すらできないことが挙げられた。一方で世界中のキリスト者の祈りと支えがあることを喜びとしているとも語られた。

和やかな雰囲気の中、大切な学びの時を持つことができた。

司祭 須賀義和

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

【クローズアップ】72

ブックレット

『裸足の宣教』出版の「案内

過去を誠実に顧み、現在に至る恵みを感じ、足らざるを知ることは、歩むべき未来を指し示す、大切な道標になります。日本聖公会が昨年、宣教150周年を祝う際に掲げたテーマは、「こぎ出せ、沖へ」でした。それは、C・M・ウィリアムズ主教の来日から数えた歳月の歩みを、感謝して喜び祝うと同時に、今を生きる私たちが、151年からの歴史に主体的に関わっていることを自覚し、決断する節目でもあったと思えます。記念礼拝の説教者として立たれたカンタベリー大主教は、日本聖公会の歴史を、簡素で軽やかに歩む「裸足の宣教」として評価さ

れると共に、私たちが針路を見定め、こぎ出すための勇氣と励ましを語られました。

このメッセージを、できるだけ多くの人と分かち合い、それぞれの信仰生活において実践してゆくための助けとなることを願って、信仰と生活委員会から、ブックレット『裸足の宣教』を出版いたします。

同書は、大主教の説教を深く味わうための「問い」や「祈り」を設けていますので、個人で思い巡らすにも、グループで話し合うにも自在に用いることができるでしょう。また、理解の助けとなる資料も用意しました。大主教が説教で言及された、「ピカステス主教の靴を脱いで」の堅信式」の原資料翻訳

(資料2)や、1998年ランベス会議での日本聖公会の貢献についての公式記録(資料4)は、世界から見た日本聖公会の宣教への評価として、新鮮に受け止めることができるでしょう。「日本聖公会黎明期の二人の主教」についても、既存の文献を参照して、簡潔にまとめました(資料1)。

加えて、「副読本」として創作短編物語が付録されています。大主教の説教に鼓舞されて書き下ろされた入魂の一作です。

この全80頁から成るブックレットを、様々な場面で活用しながら、共に「裸足の宣教」にこぎ出してゆきましょう。

信仰と生活委員会委員長

司祭 宮崎 光